令和8年度SSHシンガポール海外研修の事前学習が始まりました

10月30日（金）15時50分より、小田原市企画部デジタル推進課から講師２名をお招きし、「小田原市のデジタル化」をテーマとした講話を実施しました。

講話では、小田原市DX推進計画の概要をはじめ、デジタル化に向けた具体的な取組や生成AIの活用について説明していただきました。講話後の質疑応答では、生徒たちから多くの質問が寄せられ、講師の方々に丁寧にお答えいただきました。生徒たちは、自治体におけるデジタル技術の活用やその可能性について理解を深める貴重な機会となりました。



今回の講話は、令和８年度SSHシンガポール海外研修の事前学習の一環として実施されたものです。研修には20名の生徒が参加し、令和９年２月にシンガポールを訪問します。

シンガポールでは、「スマートネーション構想」のもと、社会のさまざまな分野でデジタル化が進められています。生徒たちは、Google Singaporeや鹿島建設のイノベーション施設「The GEAR」を訪問するほか、デジタル化のモデル地区であるパンゴル地区でのフィールドワークを通して、デジタル技術が社会課題の解決や人々の生活の向上にどのように貢献しているのかを学ぶ予定です。